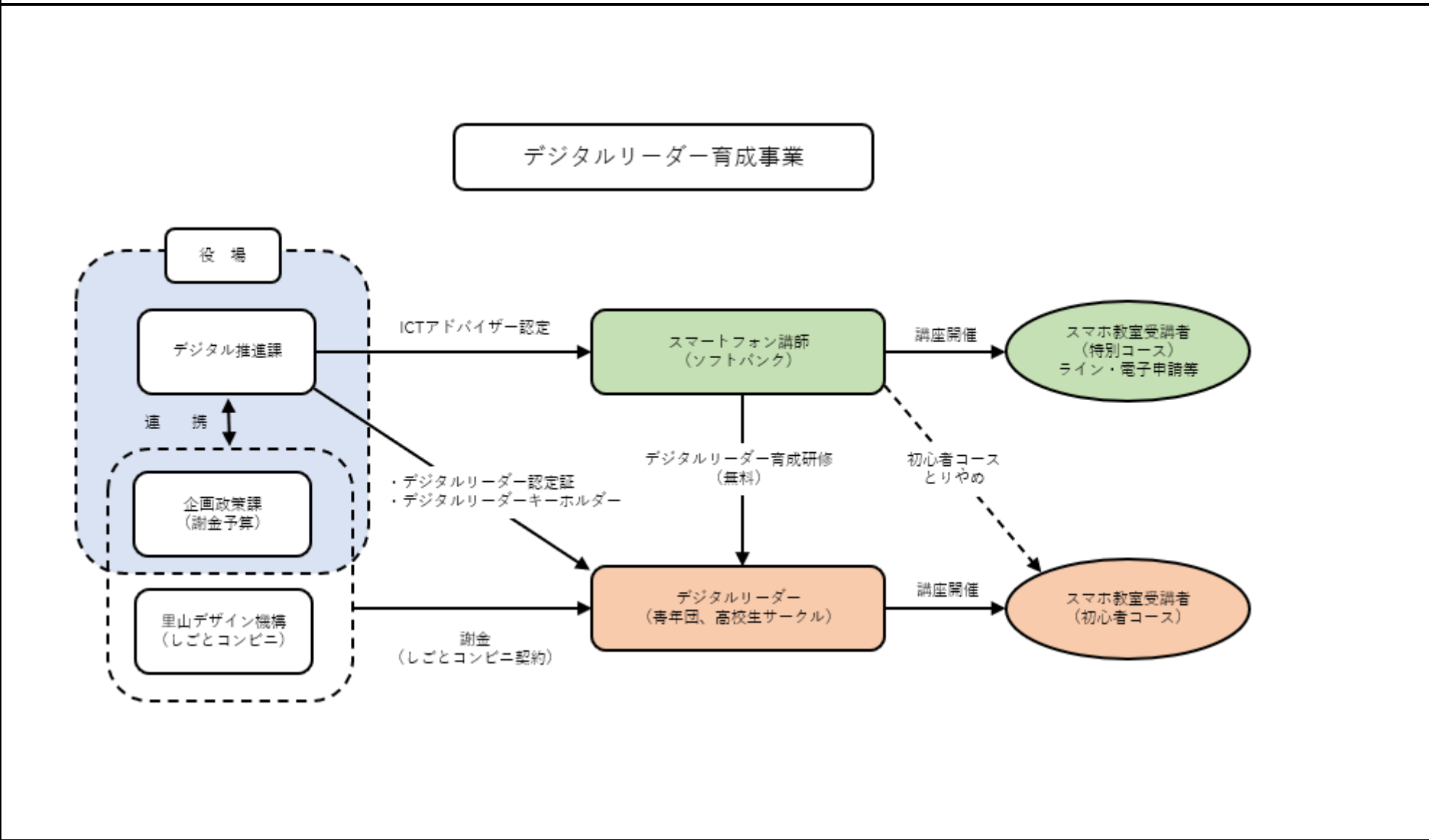


取組名称「デジタルリーダー育成事業」概要図（アイデア部門）



取組調書（アイデア部門）

地方公共団体名	鳥取県 南部町		
アイデア名称	デジタルリーダー育成事業		
連携自治体、企業、団体等	ソフトバンク株式会社、なんぶ里山デザイン機構（NPO 法人）		
デジタルを活用したアイデアの概要（デジタルを活用したアイデアの全体概要と解決する個別課題の具体的内容）	（種類） <sup>（注）</sup>	②	（左記が①の場合の分野）
	<p><b>【デジタルを活用したアイデアの全体概要】</b>          ○今後のマイナポータル（電子申請）などの活用を見据え、スマホなどの端末の活用をスマホ教室により促進し、デジタルデバインド（情報格差）を是正したい。このことから、デジタルリーダーを若い世代から公募し、シニア世代へのスマホ教室の講師となり、その教室枠を拡大する。</p> <p><b>【実施に至る経緯・動機】</b>          ○シニア向けの初心者スマホ教室を、ソフトバンクのスマートフォンアドバイザーに講師依頼して開催しているが、その開催日程は毎月 1 回（午前 20 名、午後 20 名）と限定的である。          このことから、当町のみで教室を開催出来るスキームを作っておく必要がある。</p> <p><b>【解決する課題の具体的内容】</b>          ○スマホの活用をスキルアップしたい受講者の要望や、各地域での出張要望に応えるべくデジタルリーダーを育成し、教室の内容及び開催数の拡大を図る。このことにより、スマホ技量の向上はもとより、世代間のタテの繋がりの醸成、若い世代の達成感を図る。</p>		
デジタルの活用により目指す成果（数値）	<p><b>【取り組みが目指すアウトプット】</b>          60 歳以上の教室受講人数：4 年度 480 人、5 年度 600 人、6 年度 600 人</p> <p><b>【取り組みが目指すアウトカム】</b>          電子申請の利用数：4 年度 200 人、5 年度 300 人、6 年度 400 人</p>		

## 南部町

本アイデアの特徴的な点やデジタルの活用において工夫した点	<p>○若者と高齢者との交流を含むことから地域連帯感の向上</p> <p>○デジタルリーダーの講師謝金において、町NPOのなんぶ里山デザイン機構の事業である「しごとコンビニ」を活用することで、町内事業との連携を図る。</p> <p>○デジタルリーダーへ認定証の他、3Dプリンターで作成したキーホルダーを授与する。このキーホルダーのデザインを、デジタルリーダーとなる方々にしていただく事で、この任への愛着を醸成する。</p>
今後の展望	<ul style="list-style-type: none"><li>・4年7月：デジタルリーダーを公募（青年団・高校生サークルなどを想定）予定</li><li>・4年8月：デジタルリーダー応募者へ、ソフトバンクスマホアドバイザーがスマホ教室講師となる研修を実施（無料）予定</li><li>・4年8月：デジタルリーダーと「仕事コンビニ」契約予定</li><li>・4年9月：町がデジタルリーダーの認定証発行及びキーホルダーの授与</li><li>・4年10月～：デジタルリーダーによるスマホ教室を開催予定</li><li>・4年10月～「しごとコンビニ」による謝金を講師に支払う。</li></ul>

注： 以下の①または②のいずれかを選択

- ① デジタルの活用により、次の個別課題を実際に解決し、住民の暮らしの利便性と豊かさの向上や地域の産業振興につながっているもの。  
(・医療 ・教育 ・子育て ・物流 ・交通 ・農林水産業 ・中小企業 ・観光 ・防災)
- ② 高齢者、障がい者などデジタルに不慣れな人々がデジタル機器・サービスの利用方法を学ぶことができる環境づくりを既に進めるなど、あらゆる人がデジタル化の恩恵を享受できる、「誰一人取り残されない」社会の実現に寄与しているもの。